

第6号

発行日 平成15年春号

曹洞宗 天祐山 公田院 仁叟寺

# 山雲水月

発行責任者 仁叟寺 住職 渡辺啓司

じょやえ

せつぶんえ

## 写真で観る除夜会・大節分会

### 除夜会

げんそうてき  
幻想的にライトアップ  
された仁叟寺山門

薬師堂内で行われたミニコンサート



「今年も良い年でありますように」



「鬼は外！福は内！」

### 大節分会



もんじゅどうまえ だいにぎ  
文殊堂前は大賑わい



好評だった「ちびっこ節分」  
事前準備、お疲れ様です



### 平成15年 仁叟寺年間行事予定

- 1/1 年頭祈祷
- 1/3～1/4 年始挨拶
- 2/3 節分会
- 2/15 涅槃会
- 3/9 大般若法要
- 3月中旬 筆供養法要
- 3/18～3/24 春彼岸
- 3月末 筆供養
- 4/8 花祭り
- 7/12～7/16 県外檀信徒棚経
- 7/23～7/24 子供禅の集い
- 8/13～8/16 お盆
- 9/20～9/26 秋彼岸
- 12/8 成道会
- 12/31 除夜会

毎週土・日曜日  
書道教室  
毎週水曜日  
定期坐禅会  
隔週水曜日

## 向井周治氏総代長退任



総代責任役員退任のご挨拶を申し上げます。

寒さの中にも春の気配が感じられるようになって参りました。一雨ごとに春めいてまいりました。檀信徒の皆様には御変わりも無く御過ごしの事とお慶び申し上げます。

さて、私事ですが、仁叟寺総代責任役員を三十世住職隆司大和尚様より拝命いたしましてから二期八年の任期を昨年十二月で全うする事が出来ました。然も、二代に亘るご住職様に御仕え出来た事はこの上なき幸せに想っております。是も偏に東堂様住職様始め皆様の温かい御指導と御鞭撻の賜物と深く感謝申し上げております。特に最高顧問檀家の寺本欣正翁を始め役員の皆様方には大変

長い間お疲れ様でした

さて、私事ですが、仁叟寺総代責任役員を三十世住職隆司大和尚様より拝命いたしましてから二期八年の任期を昨年十二月で全うする事が出来ました。然も、二代に亘るご住職様に御仕え出来た事はこの上なき幸せに想っております。是も偏に東堂様住職様始め皆様の温かい御指導と御鞭撻の賜物と深く感謝申し上げております。特に最高顧問檀家の寺本欣正翁を始め役員の皆様方には大変

## 金子明氏総代長就任

この度、五百有余年にわたる歴史と伝統に輝く名刹に仁叟寺の総代責任役員として、長年専心誠意尽力され、多大な貢献と数々の事績を残された向井周治先達の後任をお受けすることになりました。

このことは、不才な私にとって誠に忸怩たる思いがいたしますが、これもまた仏縁のいたすところと考え、仏法の教えに従い、僭越ではありますか今後法燈の維持発展と檀信徒の皆様方の為に微力を尽したいと存じますので、何卒宜しくご指導ご鞭撻の程をお願い申し上げ、簡単ですが新任のご挨拶といたします。

金子明 合掌

お世話になり、大過なく任期を果たす事が出来ました事、心より厚く御礼申し上げます。

平成七年二月に寺本会長様の八十歳誕生日に合わせて行われた文殊堂・薬師堂の落慶法要の式が、中国より根通・宏浄両法師様始め多数の宗教事務局の方々をお迎えして、日中共同にて盛大に営まれたこと。また、檀信徒の一世人一代の行事である平成十年十月の三十世住職隆司老師様の退董式、三十一世住職啓司大和尚様の晋山式等が忘れられない想い出として残っております。

総代責任役員を辞しても一層三宝に帰依し、総代として暫く残り、法燈の護持と後任者に御協力申し上げ、今迄の御恩に少しでも報いる所存であります。

本当に長い間、色々と言葉で言い表せない皆様の温かい心からの御協力には、唯々感謝の気持ちで一杯であります。有難うございました。

終わりに菩提寺の益々の御繁栄と檀信徒皆様の御多幸を御祈念申し上げ退任の挨拶とさせて頂きます。

向井周治 合掌

(第3種都便物認印)

金子 明さん 75  
吉井町吉井

金子明さん  
吉井町吉井の形や表情、衣装をimitate  
して描いた壇輪には、  
「金子明さん」と壇輪作りの  
魅力を詰めこみました。自  
身には、難題もあれば、  
必ずこの武人や魔女や药四  
天王の壇輪はにむかが並  
んで、これまた作った壇輪  
は数知れない。壇輪には、  
昔の貴やかさや自然な生き  
ざまがあると感想です。

真、自分のスタイルを参考  
分派の好きなのがボ  
ーイング。内因の優しさが  
よね。来た人が心地が良  
いと喜んでくれればいいね」と  
吉井町吉井の形や表情、衣装をimitate  
して描いた壇輪には、  
「金子明さん」と壇輪作りの  
魅力を詰めこみました。自  
身には、難題もあれば、  
必ずこの武人や魔女や药四  
天王の壇輪はにむかが並  
んで、これまた作った壇輪  
は数知れない。壇輪には、  
昔の貴やかさや自然な生き  
ざまがあると感想です。

「うまくできても90点ぐらい。なかなか理想  
の作品はできない」と実業の金子明さん

上毛新聞（平成15年1月14日付）より  
金子明新総代責任役員氏が紹介されまし

## 寺史編纂室通信 - 5 -

へんさん

寺史の編纂にあたり必要な作業の一つに写真の撮影があります。読み易く分かり易い歴史書にするため、当編纂室でも三人の写真班の方々に頑張って頂いております。

かつやく

それぞれアマチュア写真家として活躍されており、落合喜久夫氏（塩）を班長として、

井上隆氏（吉井）神保佳玄氏（神保）の協力

じゅうき

を受けております。仁叟寺の建物什器宝物等はもちろんハケ寺にわたる末寺やその跡地の遺跡等も取材対象です。また、当寺の各行事にも写真班として参加頂いております。

寺史の完成までは、まだまだ時間がかかり



写真班の方々（左から落合・神保・井上各委員）

そうですが、宜しく御協力のほど、御願い申し上げます。

## 仁叟寺探索 - 3 -



釈尊涅槃画幅

今回の探索は、当寺に江戸期初期から伝わる『釈尊涅槃画幅』です。貞享2年（1685年）の作で、釈尊（お釈迦様）の逝去された様子を描いた画幅です。

ねはんえ

毎年2月15日は『涅槃会』と申しまして、お釈迦様の命日であります。当寺ではこの涅槃画幅を掛けご供養を行っております。また、ねはんだんご「涅槃団子」といいお団子を作り、お釈迦様の冥福をお祈りいたします。ちなみに、お通夜お葬儀にて仏様にお団子を供えるのは、そういった故事に基づくものです。

いた

死を悼むだけでなく誕生をお祝いする行事もあります。4月8日の『花祭り』（釈尊降誕会）がそれで、誕生画幅を掛け、甘茶を掛けでお祝いをいたします。是非、ご来寺頂き伝統の文化に触れてみては如何でしょうか？

整備された境内西側庭園



## 境内西側庭園の整備

境内西側にある庭園が一新いたしました。当寺と友好関係にある

ちゅうごくさんせいしうごだいさんけんつうじ

中国山西省五台山顕通寺の友好記念碑、ス

たいほたいかい

リランカ大菩提会から贈られた佛足石、江

ふっそくせき

戸期に造られたと伝えられている経塔、

とくがわいえさと

徳川家達貴族院議長の撰文による明治期の古社

せんぶん

寺保存指定を拝命した碑文など記念

ほうとう

碑及び宝塔が整備され建立されました。

また、この庭園の整備にあたりまして、向井  
むつみ  
睦さん（塩）に工事費の一部として淨財をご  
寄進頂きました。厚く御礼を申し上げます。

## 平成14年度寄付者一覧

こだいはす はち  
古代蓮3鉢分・藤古木6株  
水鉢3組

藤岡 宮澤二三夫殿

だるまだいしそう  
達磨大師像

多比良 篠崎和男殿  
塩 金田政男殿

しあわせ地蔵 神保 小鑿子・同 櫻 製台座

神保 小鑿子・同 櫻 製台座  
吉井 小柏正夫殿

国旗掲揚台 同設置工事一式

吉井 横田裕一殿

からかねせいたつのくち  
唐金製龍の口

塩 向井周治殿

しろみかげいしせいおおみすはち  
白御影石製大水鉢

吉井 横田裕一殿  
吉井 小柏正夫殿

吉井 岩崎勝美殿  
長根 金井宏行殿

長根 吉田利道殿  
塩 金田恒男殿

中国・スリランカ記念碑  
境内西側庭園

塩 向井睦殿

ひのきせいわたりだん  
本堂前檜製渡り段

長根 (有)上原建築殿



しょうけいす けやき  
小鑿子・同 櫻 製台座



そうけやきせいきゅううでん  
総 櫻 製宮殿



しろみかげいしせいおおみすはち  
白御影石製大水鉢



けやきせいだいこうろだい  
櫻製大香炉台

いはいいこつじやしんおきだい  
位牌遺骨写真置台

吉井 松井紀雄殿

しゃかによらいせきふつ だいざ  
釈迦如来石佛及び台座工事一式

藤岡 和島孝之殿

ほうくかばん  
法具鞆

吉井 神保一好殿

からかねだいとうろう  
唐金台燈籠

吉井 唐金台燈籠  
多胡 新井絹枝殿

せんじゅかんのんむらさきちらめんまく  
千手觀音紫縮緬幕



かうかねだいとうろう  
唐金台燈籠

前橋 武藤英男殿  
総 櫻 製宮殿

埼玉 甲斐八千代殿  
しょうがつしめかざり  
正月×飾り

塩 向井孝也殿  
けやきせいだいこうろだい  
櫻製大香炉台

東京 森一敏殿  
特製座布団30枚

多比良 武藤綱男殿  
きんばくしょうこうだい  
金箔焼香台

藤岡 堀越隆殿  
きょうづくえ  
経 机 10基

多胡 井上製裘男殿  
さるすべり  
百日紅3株

どうだんつつじ2株  
神保 柿田和良殿



## 行雲流水 (編集後記)

除夜会、節分会、涅槃会、大般若会と行事が目白押しでしたが、何とか春号をお届けすることができました。年度末ということで何かとお忙しいと想いますが少し立ち止まってみませんか。きっと春の息吹を感じられるのではないかでしょうか？

また、向井前総代長さん、長

い間どうもお疲れ様でございました。寄付者一覧などを見ましても分かる通り、こういった檀信徒の皆様とその御縁に支えられて、仁叟寺が護持運営されていると思いますと感慨深い気持ちで一杯であります。改めて感謝申し上げる次第。

編集人 副住職 渡辺龍道



春の風物詩『タケノコ』(昨年)